

戦争トラウマ

いま ～現在も続く加害と被害

個人で対処できないほどの圧倒されるような体験によってもたらされる心の傷を「トラウマ」といいます。(国立精神・神経医療研究センターHPより) 具体的には命が脅かされるような危険な体験や深刻な怪我、性暴力などがトラウマになり得ます。トラウマの記憶がPTSD(心的外傷後ストレス障害)を引き起こすことは珍しいことではありません。

軍隊内での激しい暴力や戦場での殺し合いという体験が、生き残った兵士にはトラウマとなることが知られるようになりました。そんな心の傷を持ち帰った父親や息子と家の中で向き合わざるを得ない家族は彼らからの身体的暴力や精神的・経済的な暴力といったPTSDにさらされることがありました。その体験が、家族にとってトラウマになり、PTSDが再生産されることも生じています。

戦争は最大の人権侵害と言われます。戦後80年を経てもなお、戦争はそのような形で現在を生きる人々の生活を脅かし続けています。

本集会では、戦争トラウマをという概念を手掛かりに、戦争による人権侵害を明らかにします。「新しい戦前」を迎えないために。

戦争PTSDの父と暮らした家族は

藤岡 美千代さん

(PTSDの日本兵家族会・寄り添う市民の会関西支部)



戦争トラウマが家族に与えた影響

信田さよ子さん

(公認心理師・臨床心理士、原宿カウンセリングセンター顧問)



2025年12月10日(水)
13:30～16:30

会場 阿倍野区民センター・大ホール

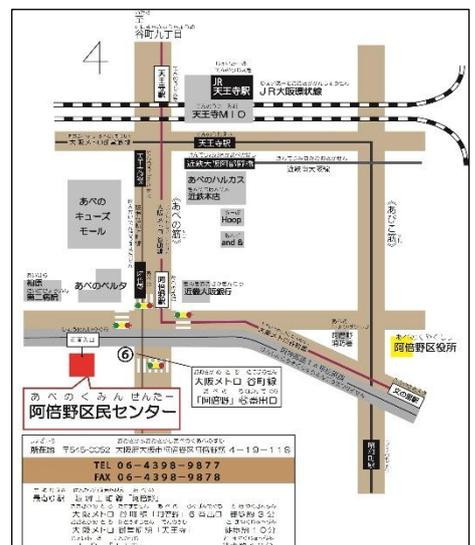
参加・資料代 3,000円(税込)

学生・18歳未満無料

*証明できるものをご持参ください

【主催】 世界人権宣言大阪連絡会議

【後援】 反差別国際運動(IMADR)



戦争トラウマ ^{いま} 現在も続く加害と被害

| | | |
|-------|-------|---|
| プログラム | 13:30 | 開会 |
| | 13:35 | 「戦争 PTSD の父親と暮らした家族とは」 藤岡美千代さん（PTSDの日本兵家族会・寄り添う市民の会関西支部） |
| | 14:08 | 「戦争トラウマが家族に与えた影響」 信田さよ子さん（公認心理師・臨床心理士、原宿カウンセリングセンター顧問） |
| | 15:08 | 休憩 |
| | 15:25 | おふたりとの対話 進行:森実・世界人権宣言大阪連絡会議代表幹事 |
| | 16:30 | 閉会 |

*手話通訳がはいります。その他、参加にあたって支援のご希望は12/1(月)迄にご連絡ください。12/1以降のご相談もできる限り対応いたします。

*集会の趣旨に反する参加はお断りさせていただく場合がございます。

講師プロフィール

のぶた こ 信田さよ子さん

1946年生まれ。1995年原宿カウンセリングセンター設立、2021年所長を引退し現在は顧問。アディクション、摂食障害などの本人とその家族、DV、子ども虐待、ハラスメントや性暴力の加害者・被害者などのカウンセリングを行ってきた。現在、日本公認心理師協会会長、日本臨床心理士会理事、NPO法人RRP研究会代表理事などを務める。著書多数。最新著は「なぜ人は自分を責めてしまうのか」ちくま新書。

ふじおか みちよ 藤岡美千代さん

1959年鳥取市生まれ。高校卒業を機に大阪へ。1979年より箕面市立保育所に勤務、30年間務めたのち、2010年に大阪市東淀川区で喫茶店「オリーブガーデン」を開店。

2023年、現在「PTSDの日本兵家族会・寄り添う市民の会」代表を務める黒井秋夫さんと出会ったことをきっかけに、自身の父親の戦争体験に向き合うようになる。

参加申込方法 *入場には参加券が必要です。申込された方には参加券をお渡しします。

- 世界人権宣言大阪連絡会議 加盟団体・地域連絡会議にご所属の方
ご所属の団体・担当者へお申し込み願います。
- 上記以外の方 下記いずれかの方法でお申し込み願います。
 - ①右二次元コードより、必要事項を記入の上、送信してください。
 - ②世界人権宣言大阪連絡会議へ fax または Email にて、(1)お名前、(2)参加者数、(3)電話番号、(4)メールアドレス、(5)ご住所をお知らせください。

※①②の申込受付は12/8(月)まで。

※申込後のキャンセルは12/9(火)17時までにご連絡ください。返金いたします。



【主催・申込・問合せ】

世界人権宣言大阪連絡会議

〒552-0001 大阪市港区波除 4-1-37-8F 部落解放・人権研究所内
TEL06-6581-8705 FAX06-6581-8540
Email udhr@blhrri.org

※本会はインボイス制度非登録事業者です